

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■評価評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム こぶしの里新築工	階数	地上3F
建設地	千葉県千葉市稲毛区山王町171-1	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域、法22条区域	平均居住人員	120 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2022年1月14日
敷地面積	4,837 m ²	作成者	㈱UCA・都市・建築設計事務所 宇野武志
建築面積	2,392 m ²	確認日	2022年2月2日
延床面積	5,437 m ²	確認者	㈱UCA・都市・建築設計事務所 宇野武志



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	周辺環境に配慮し調和に努めるとともに、昨今の自然災害やコロナウイルス感染症などの想定外の事象を勘案し、自然採光、自然換気、節水などに重きを置いた計画とした。	その他
Q1 室内環境	採光、換気、空気室環境に配慮し快適な生活環境となるよう努めた。	Q3 室外環境(敷地内) 基地内は緑化に努め、北側道路を自主セットバックするなど周辺環境に配慮した計画とした。
LR1 エネルギー	外皮性能を高め熱負荷を抑制し設備に頼りすぎない計画とした。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車場を設置して、周辺の交通負荷抑制に配慮している。
Q2 サービス性能	基本的な性能を確保したうえで将来の変更に対応できる柔軟性に配慮した計画とした。	
LR2 資源・マテリアル	節水型衛生設備の採用し水資源の保護に配慮。有害物質を含まない材料を使用に努めた。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される